

施政方針

(抜粋)

6月の町議会定例会で行われた、住永町長による施政方針を報告します。

健康・福祉対策

町民の福祉ニーズに的確に対応するため、「地域福祉計画」を基礎として、高齢者、障がい者さらには乳幼児から大人まで、すべての町民の皆様が住み慣れた場所で安心して暮らせるよう配慮していきたいと考えています。

新規に取り組む事業として、ファミリー・サポート・センターの開設を予定しています。この事業は仕事と子育ての両立ができる環境を整備するとともに、地域において子育てを互いに支えあう環境を推進し、町民が安心して子育てができる地域社会を構築することを目的としています。

また、より安全で、ゆとりを持った幼児教育・保育を実施するために、幼稚園・保育所の改修を計画しています。

さらに、益城町次世代育成支援行動計画(益城つ子未来プラン)は、後期行動計画の策定を平成22年3月に行いました。平成22年度から向こう5年間の次世代育成を、本行動計画に基づいて行うこととしています。

これら健康・福祉施策の中で最も重要かつ、町の懸案でもありました健康

管理センターの建て替えについては、昨年度から建設検討委員会を立ち上げ、町議会、民間、保健福祉関係の各委員に協議検討を重ねて頂き、本年3月提言書としてとりまとめを頂きました。

今後は、提言書をもとに、本町の保健福祉、子育ての拠点施設として、「益城町保健福祉センター(仮称)」の建設を推進していきます。本年度は、施設建設地の確定を行い、基本設計に着手する予定です。

国民健康保険・老人保健・介護保険

国民健康保険事業については、住民の健康・福祉増進と保険財政の安定化を図るため、生活習慣病予防対策事業や医療費適正化事業などを実施し、本年度は、国民健康保険税の引き下げを実施します。

後期高齢者医療については、各種届出事務のほか保険料の徴収などを適切に行い、高齢者が安心して医療を受けられるよう取り組みます。

介護保険事業は、高齢者の総合的な福祉増進を図るため、平成21年度を初年度とする第4期介護保険事業計画に基づき、事業を進めていきます。また、

生活環境の整備

高齢者が安心して生活ができるよう、特別養護老人ホーム、グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所の整備を推進し、今後もさらに介護保険の充実を図るとともに、介護予防・地域ケアの推進に努め、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう支援します。

●道路の整備について 地域再生道路グランメッセ木山線および農免道路の熊本空港南側への接続など、平成26年度完成に向けて引き続き整備していきます。また、県有工業団地「くまもと臨



工事が進むグランメッセ木山線

空テクノパークへのアクセス道路の整備として、町道テクノ工業団地線を平成24年度までに完成させるべく整備を進めていきます。

●都市計画について 益城町のまちづくりの具体的目標を示した「都市計画マスタープラン」に沿って、計画的に実施します。また、地域公共交通体系の見直しを重要な都市基盤の一つとして捉え、公共交通機関相互の連携を図るような一体的な利用環境づくりに努めるため、例えばコミュニティバスなどの導入の検討ができる、法律に基づく協議会の設立準備に取り組んでいきます。

●町営住宅について 益城町地域住宅計画に基づき、整備・改修を計画的に進めています。

●益城台地土地区画整理事業について 昨年の西地区の組合設立に続き、今年度は、中地区の組合を設立していただき、西地区と併せて実施段階へと進めます。東地区については、確実な事業計画を策定し、線引き、見直し等の都市計画について、関係機関との協議を予定しています。

●公共下水道事業について 飯野地区の下水道整備を引き続き進めます。整